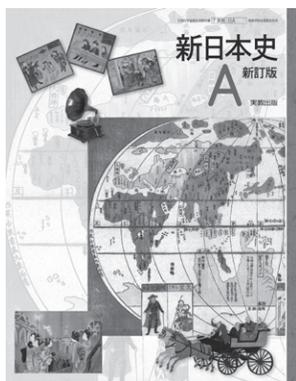


平成 30 年度用改訂教科書のご案内



日 A 313

新日本史 A 新訂版

AB 判 192 ページ

近年、日本の近現代史を学ぶことの大切さがますます強調されています。そうした中で、日本史 A という科目への期待も大きく高まっているように思われます。この教科書では、生徒たちが興味をもって近現代史が学べるよう、また現場の先生方が教えやすいような工夫が随所に施されています。以下、そのあらましをご紹介します。

まず本書の目的が、10 ページの「近現代史を学ぶこと」で述べられています。すなわち、「国民国家」「人の移動」「資本主義」「政治や社会のしくみ」を学ぶことで、現代の社会のあり方とこれからの日本の進路について考え行動する力を養ってほしいということです。そうした学びを実現するため、本書では次の点を心がけました。

①文章はなるべくやさしい言葉で記述し、量も大幅に絞り込みました。そのため歴史的な語句は必要最小限になっています。その代わり、各ページには多くの写真や地図、グラフを配して視覚的に学べるようにしています。

②最新の歴史研究の成果や問題関心を盛り込むことに努めています。「帝国・植民地・国民・都市・ジェンダー・身体・運動」などのキーワードをもとにして、「日本国民」の誕生，“日本の植民地”，“改造の時代”，“移動する人々”，“総動員の時代”，“アジアのなかの「敗戦」”，“沖縄と旧植民地”などの単元があります。そうした様々な切り口から、日本の近代国家の特徴を学ぶことができます。

③各章の冒頭に、世界地図と写真・年表を使って世界と日本の関係を学ぶことのできるページを設けています。

それでは次に、今次改訂のポイントをいくつかご紹介します。その一つは、現場からの意見を取り入れて、「近代以前のあゆみ」というページを新設したことです。前近代のおおまかな歴史の流れを叙述した上で、古代・中世・近世ごとにテーマ学習として、近代の国民国家創出に必要な文字や文化、宗教が整備されたこと、東アジア世界における日本の立ち位置について、そして近代の社会構造の基礎となった江戸時代の身分制について学べるようになっています。また、これも要望が多かった、幕末維新の動乱と自由民権運動についての記述を大幅に増やしました。二つ目は、各単元におかれた「考えてみよう」の見直しです。ページトップに配された写真や地図をもとにして、その時代のポイントを探る仕掛けです。生徒の論理的思考力を育てる助けになるでしょう。

以上のように、本書は学校の状況に応じて様々な使用法が可能です。概括的な歴史の流れを学ぶことも、より深い内容を学ぶ導入としても使うことができます。どうか日本の近現代史を楽しく積極的に学ぶために、本書をご活用いただけますようお願い致します。

(神奈川県立柏陽高等学校教諭 矢野慎一)



日 B 311
高校日本史 B 新訂版
B5 判 272 ページ

◆「歴史のまど」から時代を覗き込む

『高校日本史 B』のコンセプトは明確です。それは、高校生が学びやすく、教師が教えやすい教科書作りを徹底してめざしたということです。1 テーマ 2 ページ、合計 101 テーマの構成となっており、「B」の標準単位 4 単位で実施する、1 年間の実際の授業時数を考慮したテーマ数となっています。生徒にとっては自習するためのペースメーカーとなり、教師にとっては年間の授業計画が立てやすい構成となっています。

また、単元の冒頭に「歴史のまど」を配置し、授業の導入に使えるように工夫しました。「まど」は名前の通り、生徒が窓を覗き込むことによって、その時代に入り込む役割をあたえています。そのため、「まど」は本文記述とは異なり、より具体的でエピソード性の高い記述となっており、読みやすくするためすべてを 10 行前後にまとめました。単元のテーマをすべて疑問文にしているのは旧版と同様ですが、生徒はその疑問を持って「まど」を覗き込み、問題意識を膨らませて、本文を読むことで、単元冒頭の疑問を明らかにしていくというイメージです。

◆主体的・対話的で深い学びを実現する「歴史を考えてみよう」

今回の改訂に際して新たに加えたものが「歴史を考えてみよう」です。次期学習指導要領で本格的に導入されるアクティブ・ラーニングを意識して、「推古天皇？聖徳太子？蘇我馬子？－飛鳥時代の政治改革のリーダーはだれか－」「鎌倉幕府はどのように成立したのでしょうか」「江戸時代の女性はどのような存在だったのでしょうか」「第 1 次世界大戦後にアジア各地では何がおきたのでしょうか」「琉球、それとも沖縄－なぜよび方がちがうのでしょうか」の 5 つのテーマを時代ごとに設けました。

教師の問題提起を受けて、生徒が資料を読み解きながら各自の意見形成を行い、その妥当性をグループワークやクラスの仲間との討論を通じて検証していくという構成になっています。生徒が考えてみたくなるような魅力的な問題提起が、生徒の主体的な取り組みを生み出し、クラスの仲間との議論が、生徒ひとりひとりの論理的思考力を高め、歴史認識を深めていくことを想定しています。また、歴史学が論争的な学問であることをふまえて、ひとつの結論に導くのではなく、オープンエンドにしていることも特徴です。

「歴史と資料」「歴史の解釈」「歴史の説明」「歴史の論述」では、旧版同様 2 人の高校生が、教師の解説などをヒントに自分たちで歴史の謎や疑問、問題を解明していく形をとっていますが、「歴史を考えてみよう」では、各単元の授業にも応用できるように、実際の 1 時間の授業を想定した授業展開例として示しています。

その他、さまざまな工夫や改善を行いました。どうか実際に手に取って確かめてください。 (敬愛学園高等学校特任教諭 榎澤和夫)

平成 30 年度用改訂教科書のご案内



日 B 312

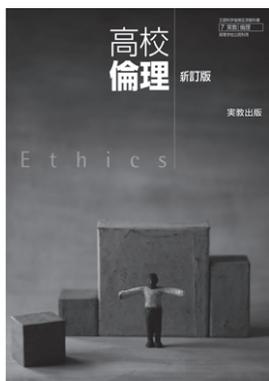
日本史 B 新訂版

B5 変型判 384 ページ

本教科書の特色は二つあります。一つは、日本列島に展開される人々の歴史を歴史研究の最新の成果を生かし、東アジア史や世界史を視野に入れて編修・執筆にあたったことです。生徒が原始・古代から現代に至るまでの歴史の文脈をしっかりと理解できるような丁寧な解説による本文叙述を心がけ、本文内容を補足する脚注、ミニコラムそして図版・資（史）料などを豊富に掲載しました。また、併せて各時代に主題学習として「古代の土地制度」・「中世の仏教」・「近世の学問の流れ」・「日本植民地下の台湾・朝鮮の人々」の4テーマを各2ページずつ加え、本文をより掘り下げ、理解を深める学習内容を設けています。これら一つ目の特色によって、センター試験・2次試験に対応できる充実した歴史用語・豊富な学習要素を持つ教科書構成となっています。

二つ目の特色は歴史学習で培うべき「歴史的思考力」の育成を意識して教科書の構成をおこなったことです。「調べて見よう」という学習項目を新設し、「なぜ弥生時代に戦争がはじまったと考えられているのだろうか」、「律令制とはどのようなものなのか」、「中世の人々は神仏をどのように感じていたのだろうか」、「有田焼はヨーロッパの焼き物にどのような影響を与えたのだろうか」、「江戸時代の理科系力はどのようにして培われたのだろうか」、「輸出品としての生糸の地位はどのように変化したのだろうか」、「女性選挙権の実現の背景は何だったのだろうか」、「なぜ『社会科』という新しい教科が生まれたのだろうか」、「憲法を守る義務は誰にあるのだろうか」の9項目を設けました。それぞれの課題について生徒自らが調べていくことを促す内容となっています。また、学習指導要領から求められた①「歴史と資料」では『伴大納言絵巻』を取り上げ、他の資料と関連づけながら歴史を読み解く手法を示し、②「歴史の解釈」では中世の遠江国見付宿の歴史資料を介して町の推移や変化の様子を調べて相互の因果関係に留意させ、③「歴史の説明」では近世の結婚と離縁に関する資料に基づいて歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことを示し、④「歴史の論述」では地域の戦争遺跡を探究する活動を通して歴史的な見方や考え方を身に付けさせるように配慮しました。このように二つ目の特色では「歴史は暗記」、「教師から教えられるもの」という考えから、自ら歴史の課題を見つけ探求していくことがこれからの社会で求められている学習であるということに気づいてもらうための例示を多く取り上げました。歴史を主体的に学ぶ高校生が育っていく一歩となることを期待しているのです。知識の獲得だけでなく、「思考力」を育むための教科書。本教科書は生徒にとっては学習しやすく、先生方にとっても魅力的な教材が豊富に掲載された教科書となっていることを編修・執筆者一同自負しています。どうか実際に手に取って確かめてください。

(同志社大学准教授 児玉祥一)



倫理 312
高校倫理新訂版
A5判 216 ページ

この新訂版では、①学習項目の網羅、②思想史の充実、③視覚資料の豊富さという従来の方針を踏まえるとともに、新たな工夫を行いました。それは基本的には、生徒が、倫理にかかわる知識を広く正確に理解するとともに、自身の感受性を喚起させながら、自分の生き方や社会のあり方について、自ら思考し、表現できるように、さらに工夫するという考え方にもとづいています。具体的には以下の通りです。

生徒が一人で読んでも理解できるように、平易で親しみやすい文章表現に徹する。そのために、身近な具体例や比喩を用いた説明も取り入れました（例えば、カントの「道徳法則」(p.150の注①)、サルトルの「実存は本質に先立つ」(p.169の注①)）。

難解と言われる仏教思想の記述を、専門研究者の新規加入によって、改善しました。そのことで、例えば、「輪廻」や「アートマン」(p.51)なども、具体例を用いてわかりやすく説明しています。

「倫理の基礎知識」を新たに設け、「認識」、「主観・客観」、「本質」といった、教科書を読むうえで最も基本的であり、しかし、基本的であるがゆえにかえって説明がなされていない言葉や、「唯物論・観念論」、「事物・事象」など、生徒にとってわかりにくく馴染みの薄い言葉を、改めて取り上げて意味を簡潔に解説しました。前見返しと後見返しに置き、生徒が必要に応じて参照しやすく、また、〈より一般的なものから、より具体的なものへ〉という方針で配列し、順番に読んで生徒が理解できるように工夫しました。

テーマ学習用の特別ページを改善しました。ページ数を大幅に増やし、「正義」、「幸福」、「他者」、「自由と平等」など、倫理の重要テーマを多く取り上げ、さらに、各テーマについて、①本文論旨の要約、②本文を踏まえながら生徒が自分の考えを述べるという、記述式の課題を二段構えで設けました。これらによって、生徒の知識の理解・整理に資するとともに、知識の活用力や、思考力、判断力、表現力を養ううえで有用であるように工夫しました。生徒が、自身の感受性を喚起しながら、問題について理解し、思考し、表現するという経験を積むことが期待されます。

「小論文の書き方」(p.188-189)を新設しました。小論文の書き方の一般的な解説を行うとともに、上のテーマ学習用特別ページの課題の解答例や執筆上の注意点、評価のポイントを記載し、小論文作成の実践的な指導も行えるように工夫しました。

これらの工夫によって、この教科書が、多くの高校生に満足のもの・馴染みのあるものとして使っていただけると確信しています。
(横浜国立大学名誉教授 矢内光一)



政経 313

最新政治・経済新訂版

B5判 176 ページ

学習指導要領が述べている「一層の変化が予想される社会」についての資料をできる限り示し、生徒自身が現実社会を深く考え、学びあうことができるよう、一層の工夫を加えた教科書である。

① 見開き 2 ページ 1 単元構成

生徒は、最初の「Point of Study」で、この単元で何を学ばばいいか頭に入れ、2 ページ目の「キーワード」で重要語を確認できる。視覚的に理解しやすいよう、写真、グラフ、表、地図を数多く取り入れた。例えば、国際政治分野では、冷戦期の写真と年表を組み合わせ、国際情勢の変化を視覚的に理解することができる (p.56)。今改訂ではさらに、図解説 Q&A も新たにおいて、図版の読み解きのポイントを対話形式でわかりやすく解説している (p.29 など)。

② 特徴のあるページ：「歴代内閣と日本の歩み」、 「introduction」、 「Visual 特集」

巻頭の 4 ページ分は、戦後の年表である。日本や世界の主なできごとが、内閣総理大臣の顔写真とともに示されており、歴史的事実を確認するのに重宝する。また、1、2 編最初の「introduction」では大胆に漫画をおき、生徒が興味をもって、ルールや経済の基本について考えることができるようになっている。3 編の「introduction」では、人口・食料問題に関する最新の動向を学んだ上で、問題解決のための具体的かつ持続可能な取り組みを紹介している。一方、「Visual 特集」では、人間の安全保障、世界経済、地球環境、エネルギーの 4 テーマについて、地球規模のダイナミックなヒト・モノ・カネの流れやそれぞれの国の大まかな様子が俯瞰できるように、地図と写真、グラフなどが組み合わされている。

③ 特徴のある内容：「時事コラム」、 「なるほど Q&A」、 「Navi」

18 歳選挙権が実現する中で、「なぜ選挙に行くのか」や「選挙に行く前に知っておくこと」など、主権者教育に関連する記述を充実させた (p.46)。求人票のみかた (p.112) や架空請求された時の対処法 (p.106) など実生活で役立つ内容を増やしたのが「Navi」の 10 テーマである。また、基地問題 (p.67)、格差と貧困 (p.101) などについては最新の動向が整理しやすいように「時事コラム」で解説した。さらに、需要・供給曲線 (p.79) や GDP (p.85)、円高・円安 (p.125) など、生徒がつまづきやすい内容については、「なるほど Q&A」を 19 テーマおいて、詳しく解説している。

④ 発展的学習にも広がる内容の充実

センター試験に出題された「囚人のジレンマ」なども取り入れた、受験にも対応可能且つ平易な教科書が本書の特徴である。今改訂では、次期学習指導要領から本格導入されるアクティブ・ラーニングを見据えて、3 編の「Point of Study」で論点を示した。生徒の視野をより広げ、深く学ぶ学習の一助となることを期待している。

(東京都立戸山高等学校主幹教諭 高橋朝子)

平成 30 年度用改訂教科書のご案内



政経 312
高校政治・経済新訂版
A5判 248 ページ

現在の政治経済の混沌とした状況は、近年まで誰も予想しえなかったであろう。グローバルな世界での国民国家や地域のあり方が各国で問われ、日本もその渦中にある。政治的対立が激しくなり、ネット社会の発展がそれに拍車をかけている。誰もが簡単に情報へアクセスできるようになる反面、それらの真偽や妥当性を十分に吟味できる力が国民一人ひとりに必要となっている。

わが国ではとくに 18 歳選挙権が施行されて以降、主権者としての自覚が高校生にも強く求められている。若い世代が民主主義のあり方について、これまで以上にしっかりと考えていかなければならなくなった。彼らが無関心や思いつきで政治に関わることは、将来の日本社会を脅かすことにもなる。政治や経済について若い世代が興味・関心を抱き、常に自らの問題として考え続けていくことは、私たち教育者に課せられた重大な使命であろう。

このような状況を意識して、新訂版「高校政治・経済」ではいくつかの重要な改訂を行っている。まず、単元ごとに学習内容をもとにしたテーマを示し、思考力や判断力を養うことができるようにしている。例えば、ますます広がる格差問題を考える場合、それを社会保障や税を通じて是正すべきだという考えがある一方で、人々の自助努力を重視するべきだという意見も根強い。これらの相対立する考え方を対置し、その中から日本はどのような社会を目指していくべきなのかを学習課題としておいている。

生徒がこのようなテーマを話し合い、決めていくプロセスを実践することで、政治とは何かを深く理解できるようにしたことも新訂版のポイントである。「なぜ私たちは主権者として政治に参加しなければならないのか」「社会の多様な意見を代表する政党や政治家に求められる役割は何なのか」という課題をおき（政治 Q & A）、そこから「私たちが政治に参加するというのはそもそも何を意味しているのか」という民主主義の根本的な理解を促しているのはその一例である。

さらに新訂版では、資料や図版を単なる解説にとどめるのではなく、そこから読み取るべき問題点の指摘を行うなど、より効果的な学習ができるように工夫した。受験に必要な事項を網羅しつつも、生徒が一人で読んでも理解できる平易な記述も心がけられている。

新訂版の構成は次のようになっている。第 1 編「現代の政治」、第 2 編「現代の経済」では、現代社会をとらえる上で必要な知識と考え方をわかりやすく網羅的に取り上げている。第 3 編「現代社会の諸課題」では、生徒が自主的・自立的に社会の諸問題に取り組むための姿勢や能力を形成できるように、トピックスの精選と考え方の紹介を行った。第 3 編の記述においては、第 1 編、第 2 編の基礎的知識との関連を意識することで、教科書全体としての体系性をつくりだしている。

(立命館大学教授 森裕之)